創刊 140th 地域をつないで in June, 2023

日本海新聞創刊140周年記念
新日本海新聞社西部本社設立40周年記念
新日本海新聞社中部本社設立30周年記念
紙上トップインタビュー

つなぐ 繋

未来への展望2023 VOL.4

困難を乗り越える力がここにある。
トップが描く《これからの時代の戦略》

VOL.4 INDEX

マムハートホールディングス　代表取締役社長　松田欣也氏
株式会社サンインマイレイ　代表取締役社長　本山博之氏
西谷技術コンサルタント株式会社　代表取締役社長　山本賢一郎氏
皆生温泉旅館組合　組合長　伊坂　明氏
学校法人柳心学園　理事長　大野奈穂子氏
株式会社今井書店グループ　代表取締役社長　島　秀佳氏
株式会社ひらぎの　代表取締役社長　平儀野健一氏

協賛企業・団体（五十音順）

AXIS　味屋コーポレーション　今井書店グループ　ueno-edp　UMiRAi　エフジーズ　m&m.co　エイブル株式会社　ORCA　皆生温泉旅館組合　倉吉信用金庫　KS　きしま　青朝業株式会社　ごうぎん　小松電材産業株式会社　SCN　さとこ田園クリニック　SAN'IN　ごうぎん　山陰信販株式会社　BSS山陰放送　サンインマイレイ　三光グループ　さんびる　JCBエクセ　JOY URBAN LTD.　有限会社 松月旅館　真誠会　積水ハウス株式会社　JA全農ことっとり　大山乳業農業協同組合　大松建設株式会社　中央印刷株式会社　中海テレビ放送　中国電力　トーキン　JA鳥取いなば　鳥取銀行　鳥取信用金庫　JAとっとり西部　西谷技術コンサルタント　NTT西日本　西日本旅客鉄道株式会社　ニュー産業　ピック・ツール　こうばの　ホテルセントノルス倉吉　Honda Cars 山陰中央　Honda Cars 鳥取　MATSUKAWA GROWING　まるごう　MIHO　ミヨシ産業　元町病院　ヨナゴ技研コンサルタント　米子市文化財団　REAL COORDINATE　柳心学園　RYUTSU

日本海新聞ホームページでバックナンバーを公開中

毎月1回下旬に掲載　次回は7月下旬掲載予定

企画・制作／新日本海新聞社地域プロデュース局

代表取締役社長

松田　欣也氏

—今、マルイが目指していることを教えてください。

今年は、食の専門家集団を目指すスペシャリティー計画の2年目、食育活動を通じ健全な食生活をサポート、また鮮度やおいしさにもこだわった付加価値の高い食材・食品をお届けできるよう人材育成や商品開発に取り組んでいます。食を通じ家庭の幸せをお客さまと一緒になって築き上げていく、それがマルイの使命。特に鳥取県産のものを地元の食卓に届け、地域の中で大切さを伝える活動を行っていく。例えば健康や意識の実現に貢献していきます。

—SDGsの達成に貢献べく、地域で多彩な活動に取り組んでおられます。

「食べること」は生きること。2006年、全国に先駆けて食育推進室を設け、特にこれからの未来を担う子どもたちに食の大切さを伝える活動を行っています。例えば健康や意識の実現に貢献していきます。

鳥取短期大学とのお当共同開発や食の楽しさも体験できる小学校に贈った寄付額は15年4月～22年9月までの累計で約480万円に上ります。

—「循環型の社会を創造する」マルコラ（フードフェスタ）を開催しています。

地域の子どもたちがより質の高い教育を受けられるよう、寄付付き商品販売で支援しています。マルイグループのNPO法人を通じ、県内のNPO団体に寄付額は15年度から毎年増えています。

—地域とのつながりを深める中で、本年度からJR鳥取駅前風紋広場の指定管理者になられました。

同広場で定期的にイベントを行い、街に多くのにぎわいをもたらしたいです。子ども服や、おもちゃのおさがりを積み、空からレーザー放射して地形をスキャンする機材を導入することで、広範囲なほか、屋外作業が減り、体の負担軽減にもなります。仮想現実（VR）での完成モデルや情報発信については、職場になるよう、ありがい、社内の雰囲気、働く環境などに目配りしています。

—経営方針は。

「より良い職場づくり」が今年、創業65年を迎えました。常に自己啓発しんで高い技術を持ち、地元の倉吉と鳥取県の安全・安心・発展に貢献していく。10年、20年先を見据え、今やるべきことを考えていかなければなりません。業種に囚われず、地元企業とのつながりを大切にしていきたいです。

—地域との関わりや展望は。

地域の皆さまのおかげで、創業65年を迎えました。今年、創業65年を迎えました。

—中山間地域の貴重な物流業に関心が高まっています。

日常の買い物に不自由されている人たちのために、ネットスーパーを発実します。岡山県内の一部では市内スマホで注文できる新システムを試行しており、鳥取県内でも導入する方向で準備中です。マルイグループの「スマート」が展開する移動スーパーの増車も検討中。買い物の利便性を高め、存在価値を発揮できればと思います。

代表取締役社長

本山　博之氏

—年間を通して、さまざまなイベントを運営されていますね。

クリエーティブで地域に貢献したいと考えています。映像やデザイン、CMなどの広報、イベントの企画運営までワンストップでできる総合力が一番の強みです。当社で全て完結しますのでスピード感もあり、クライアントに喜んでいただいています。県内を中心に毎年依頼をいただく事業も複数あります。ここ3年は有観客イベントができませんでしたが、徐々に戻ってきています。待ちわびていたお客さんも多く、人の動きが活発になりつつあります。

—地域の総合建設コンサルタントとしての業務は。

道路、橋、河川など公共インフラ関連の計画、測量、調査、設計、維持管理などの技術サービスを提供しています。山陰道北条道路、国道31号北条湯原道路にも携わっています。災害復旧も重要な仕事で、豪雨や地震で道路などが被災した場合は最優先で対応しています。

また、高度経済成長期に造られた橋などの更新時期を迎えて点検、診断、補修設計のニーズが増えており、専門部署を設け力を入れています。橋梁点検車を自社で配備し、対応しています。地籍調査は私たちも同じ利用者として、長く地域の発展に役立つものをつくっていきたいです。

—DX取り組みは。

業界全体で「建設DX」に積み、空からレーザー放射して地形をスキャンする機材を導入することで、広範囲なほか、屋外作業が減り、体の負担軽減にもなります。仮想現実（VR）での完成モデルや情報発信については、職場になるよう、ありがい、社内の雰囲気、働く環境などに目配りしています。

—経営方針は。

「より良い職場づくり」が今年、創業45年目第4期目に開催するなど、月に一度のイベント開催を目指しています。同広場の青空市場や情報発信、イベント企画などを通じて盛り上げる「風紋サポーター」を募集しています。企業や団体、市民の皆さんと連携して、来年度はサポーター発のイベントが生まれればと思っています。

—展望は。

領域を広げるために毎年、新規事業に取り組むことを目標として掲げる。幅広い世代の従業員20人で、映像やデザイン、イベントの部署が一丸となって取り組んでいます。

—「循環型の社会を創造する」マルコラ（フードフェスタ）を開催しています。

地域の子どもたちがより質の高い教育を受けられるよう、寄付付き商品販売で支援することがうれしく、達成感があります。

—デジタルトランスフォーメーション（DX）が生み出すものは。

マムハートカードと連携し、販売データを店舗での商品開発や最適な商品陳列に活かしてきました。今後は完全セルフレジや商品の自動発注システムの導入などで業務の効率化と改善を徹底、生産性向上と付加価値を追求し、お客さまへ安心なサービスの還元を目指します。昨年は各種商品の情報やクーポンを届けるL-INEミニアプリも導入、DXにより捻出される人材と時間が新たな挑戦を促し、経営基盤の強化につながることを期待しています。

—中山間地域の貴重な物流業に関心が高まっています。

日常の買い物に不自由されている人たちのために、ネットスーパーを発実します。岡山県内の一部では市内スマホで注文できる新システムを試行しており、鳥取県内でも導入する方向で準備中です。マルイグループの「スマート」が展開する移動スーパーの増車も検討中。買い物の利便性を高め、存在価値を発揮できればと思います。

代表取締役

本山　博之氏

—地域の総合建設コンサルタントとしての業務は。

道路、橋、河川など公共インフラ関連の計画、測量、調査、設計、維持管理などの技術サービスを提供しています。山陰道北条道路、国道31号北条湯原道路にも携わっています。災害復旧も重要な仕事で、豪雨や地震で道路などが被災した場合は最優先で対応しています。

また、高度経済成長期に造られた橋などの更新時期を迎えて点検、診断、補修設計のニーズが増えており、専門部署を設け力を入れています。橋梁点検車を自社で配備し、対応しています。地籍調査は

—DX取り組みは。

業界全体で「建設DX」に

代表取締役社長

山本賢一郎氏

—年間を通して、さまざまなイベントを運営されていますね。

クリエーティブで地域に貢献したいと考えています。映像やデザイン、CMなどの広報、イベントの企画運営までワンストップでできる総合力が一番の強みです。当社で全て完結しますのでスピード感もあり、クライアントに喜んでいただいています。県内を中心に毎年依頼をいただく事業も複数あります。ここ3年は有観客イベントができませんでしたが、徐々に戻ってきています。待ちわびていたお客さんも多く、人の動きが活発になりつつあります。

—地域の総合建設コンサルタントとしての業務は。

道路、橋、河川など公共インフラ関連の計画、測量、調査、設計、維持管理などの技術サービスを提供しています。山陰道北条道路、国道31号北条湯原道路にも携わっています。災害復旧も重要な仕事で、豪雨や地震で道路などが被災した場合は最優先で対応しています。

また、高度経済成長期に造られた橋などの更新時期を迎えて点検、診断、補修設計のニーズが増えており、専門部署を設け力を入れています。橋梁点検車を自社で配備し、対応しています。地籍調査は私たちも同じ利用者として、長く地域の発展に役立つものをつくっていきたいです。

—DX取り組みは。

業界全体で「建設DX」に積み、空からレーザー放射して地形をスキャンする機材を導入することで、広範囲なほか、屋外作業が減り、体の負担軽減にもなります。仮想現実（VR）での完成モデルや情報発信については、職場になるよう、ありがい、社内の雰囲気、働く環境などに目配りしています。

—経営方針は。

「より良い職場づくり」が今年、創業45年目第4期目に開催するなど、月に一度のイベント開催を目指しています。同広場の青空市場や情報発信、イベント企画などを通じて盛り上げる「風紋サポーター」を募集しています。企業や団体、市民の皆さんと連携して、来年度はサポーター発のイベントが生まれればと思っています。

—展望は。

領域を広げるために毎年、新規事業に取り組むことを目標として掲げる。幅広い世代の従業員20人で、映像やデザイン、イベントの部署が一丸となって取り組んでいます。

—「循環型の社会を創造する」マルコラ（フードフェスタ）を開催しています。

地域の子どもたちがより質の高い教育を受けられるよう、寄付付き商品販売で支援しています。マルイグループのNPO法人を通じ、県内のNPO団体に寄付額は15年度から毎年増えています。

—地域とのつながりを深める中で、本年度からJR鳥取駅前風紋広場の指定管理者になられました。

同広場で定期的にイベントを行い、街に多くのにぎわいをもたらしたいです。子ども服や、おもちゃのおさがりを

代表取締役社長

平儀野健一氏

—住宅のトータルプロデュースが注目されています。

土地開発から住宅設計、庭の工事までこだわり抜いています。私自身が「家」が好きで、いろんな建築物を見ては「自分なら、こんな感じで造ってお客さまに勧めたい」と考え続けています。社外の設計士、コーディネーターと協議や検討を重ね、家のデザインや内装のディテール、性能を決めています。家は高価な買い物で、お客さまとの付き合いも長くなるのです。相当目利きがないと、できません。土地開発では街並みの設計から着手し、住宅関わっていきますか。

地域の事情を理解し続けることが第一です。お客さまが手に取って本を買うことができる場所をなくしてはいけないと、本として残すは目につきやすく、手に取りやすく、

—島取支店が4月1旬にオープンしました。

松江、出雲、米子に続く支店で「山陰の気候風土に合った住宅を島取市にも」との思

代表取締役社長

島　秀佳氏

—業界の現状は。

コロナによる巣ごもり需要が落ち着いたこの1、2年、書店・出版業界全体の収益が減っています。出版物流も厳しさを増しており、雑誌などの流通量の減少や輸送費の高騰、配送の人手不足は長年の業界全体の問題です。一方で大手出版社と総合商社が会社を設立し、AIなどを使って適正な出版の流通を図る新たな動きも始まります。

—事業を通して地域とどう

の力になりたいという思いを込めています。1冊の本は、自動車学校は70年近く地元の高校生と学生の皆さんを受け入れ、県西部唯一の全車種

長く住みやすい家を

間の視線や音などのプライバシー面、日照条件などに配慮、家だけでなく街全体のデザイン性が高くなるように盛り上げています。

—島取支店が4月1旬にオープンしました。

松江、出雲、米子に続く支店で「山陰の気候風土に合った住宅を島取市にも」との思

本との関わり方提案

ません。

また地域の活字文化を担い続けたいと思います。個人の出版について私たちが提案しているのは、それぞれが歩んできた人生や生き方を大切なものにしてあるお手伝いし、高所作業車運転や玉掛け、ガス溶接など業務に必要な技能が山陰にないなかで取得できると、喜

持続可能社会へ導く

教習実施校として、カーライフのスタートに携わってきました。

産業免許スクールは、フォークリフト運転技能をはじめ

街歩きで魅力高める

どに取り組んできたほか、米子市の「みらいの灯り推進事業」で、海岸遊歩道の街灯のリニューアルが進んでいます。民間の側でも照明やファ

街ににぎわい創出を

組んでいます。

全員が携わり、クライアントをお待ちしています。

—DXや取り組みは。

ドローンに測量用レーザーを

高い技術で地域貢献

取り組んでいます。労働人口が減る中、体に負担が少なく安全で効率的な働き方改革を進めています。具体的には、

—今年のテーマとして掲げている「ONE TEAM」に込めた思いは。

会社内だけでなく、企業や

代表取締役社長

山本賢一郎氏

—地域の総合建設コンサルタントとしての業務は。

道路、橋、河川など公共インフラ関連の計画、測量、調査、設計、維持管理などの技術サービスを提供しています。山陰道北条道路、国道31号北条湯原道路にも携わっています。災害復旧も重要な仕事で、豪雨や地震で道路などが被災した場合は最優先で対応しています。

また、高度経済成長期に造られた橋などの更新時期を迎えて点検、診断、補修設計のニーズが増えており、専門部署を設け力を入れています。橋梁点検車を自社で配備し、対応しています。地籍調査は私たちも同じ利用者として、長く地域の発展に役立つものをつくっていきたいです。

—DX取り組みは。

業界全体で「建設DX」に積み、空からレーザー放射して地形をスキャンする機材を導入することで、広範囲なほか、屋外作業が減り、体の負担軽減にもなります。仮想現実（VR）での完成モデルや情報発信については、職場になるよう、ありがい、社内の雰囲気、働く環境などに目配りしています。

—経営方針は。

「より良い職場づくり」が今年、創業45年目第4期目に開催するなど、月に一度のイベント開催を目指しています。同広場の青空市場や情報発信、イベント企画などを通じて盛り上げる「風紋サポーター」を募集しています。企業や団体、市民の皆さんと連携して、来年度はサポーター発のイベントが生まれればと思っています。

—展望は。

領域を広げるために毎年、新規事業に取り組むことを目標として掲げる。幅広い世代の従業員20人で、映像やデザイン、イベントの部署が一丸となって取り組んでいます。

—「循環型の社会を創造する」マルコラ（フードフェスタ）を開催しています。

地域の子どもたちがより質の高い教育を受けられるよう、寄付付き商品販売で支援しています。マルイグループのNPO法人を通じ、県内のNPO団体に寄付額は15年度から毎年増えています。

—地域とのつながりを深める中で、本年度からJR鳥取駅前風紋広場の指定管理者になられました。

同広場で定期的にイベントを行い、街に多くのにぎわいをもたらしたいです。子ども服や、おもちゃのおさがりを

代表取締役社長

山本賢一郎氏

—年間を通して、さまざまなイベントを運営されていますね。

クリエーティブで地域に貢献したいと考えています。映像やデザイン、CMなどの広報、イベントの企画運営までワンストップでできる総合力が一番の強みです。当社で全て完結しますのでスピード感もあり、クライアントに喜んでいただいています。県内を中心に毎年依頼をいただく事業も複数あります。ここ3年は有観客イベントができませんでしたが、徐々に戻ってきています。待ちわびていたお客さんも多く、人の動きが活発になりつつあります。

—地域の総合建設コンサルタントとしての業務は。

道路、橋、河川など公共インフラ関連の計画、測量、調査、設計、維持管理などの技術サービスを提供しています。山陰道北条道路、国道31号北条湯原道路にも携わっています。災害復旧も重要な仕事で、豪雨や地震で道路などが被災した場合は最優先で対応しています。

また、高度経済成長期に造られた橋などの更新時期を迎えて点検、診断、補修設計のニーズが増えており、専門部署を設け力を入れています。橋梁点検車を自社で配備し、対応しています。地籍調査は私たちも同じ利用者として、長く地域の発展に役立つものをつくっていきたいです。

—DX取り組みは。

業界全体で「建設DX」に積み、空からレーザー放射して地形をスキャンする機材を導入することで、広範囲なほか、屋外作業が減り、体の負担軽減にもなります。仮想現実（VR）での完成モデルや情報発信については、職場になるよう、ありがい、社内の雰囲気、働く環境などに目配りしています。

—経営方針は。

「より良い職場づくり」が今年、創業45年目第4期目に開催するなど、月に一度のイベント開催を目指しています。同広場の青空市場や情報発信、イベント企画などを通じて盛り上げる「風紋サポーター」を募集しています。企業や団体、市民の皆さんと連携して、来年度はサポーター発のイベントが生まれればと思っています。

—展望は。

領域を広げるために毎年、新規事業に取り組むことを目標として掲げる。幅広い世代の従業員20人で、映像やデザイン、イベントの部署が一丸となって取り組んでいます。

—「循環型の社会を創造する」マルコラ（フードフェスタ）を開催しています。

地域の子どもたちがより質の高い教育を受けられるよう、寄付付き商品販売で支援しています。マルイグループのNPO法人を通じ、県内のNPO団体に寄付額は15年度から毎年増えています。

—地域とのつながりを深める中で、本年度からJR鳥取駅前風紋広場の指定管理者になられました。

同広場で定期的にイベントを行い、街に多くのにぎわいをもたらしたいです。子ども服や、おもちゃのおさがりを

代表取締役社長

平儀野健一氏

—住宅のトータルプロデュースが注目されています。

土地開発から住宅設計、庭の工事までこだわり抜いています。私自身が「家」が好きで、いろんな建築物を見ては「自分なら、こんな感じで造ってお客さまに勧めたい」と考え続けています。社外の設計士、コーディネーターと協議や検討を重ね、家のデザインや内装のディテール、性能を決めています。家は高価な買い物で、お客さまとの付き合いも長くなるのです。相当目利きがないと、できません。土地開発では街並みの設計から着手し、住宅関わっていきますか。

地域の事情を理解し続けることが第一です。お客さまが手に取って本を買うことができる場所をなくしてはいけないと、本として残すは目につきやすく、手に取りやすく、

—島取支店が4月1旬にオープンしました。

松江、出雲、米子に続く支店で「山陰の気候風土に合った住宅を島取市にも」との思

本との関わり方提案

ません。

また地域の活字文化を担い続けたいと思います。個人の出版について私たちが提案しているのは、それぞれが歩んできた人生や生き方を大切なものにしてあるお手伝いし、高所作業車運転や玉掛け、ガス溶接など業務に必要な技能が山陰にないなかで取得できると、喜

持続可能社会へ導く

教習実施校として、カーライフのスタートに携わってきました。

産業免許スクールは、フォークリフト運転技能をはじめ

街歩きで魅力高める

どに取り組んできたほか、米子市の「みらいの灯り推進事業」で、海岸遊歩道の街灯のリニューアルが進んでいます。民間の側でも照明やファ

街ににぎわい創出を

組んでいます。

全員が携わり、クライアントをお待ちしています。

—DXや取り組みは。

ドローンに測量用レーザーを

高い技術で地域貢献

取り組んでいます。労働人口が減る中、体に負担が少なく安全で効率的な働き方改革を進めています。具体的には、

—今年のテーマとして掲げ

代表取締役社長

山本賢一郎氏

—地域の総合建設コンサルタントとしての業務は。

道路、橋、河川など公共インフラ関連の計画、測量、調査、設計、維持管理などの技術サービスを提供しています。山陰道北条道路、国道31号北条湯原道路にも携わっています。災害復旧も重要な仕事で、豪雨や地震で道路などが被災した場合は最優先で対応しています。

また、高度経済成長期に造られた橋などの更新時期を迎えて点検、診断、補修設計のニーズが増えており、専門部署を設け力を入れています。橋梁点検車を自社で配備し、対応しています。地籍調査は私たちも同じ利用者として、長く地域の発展に役立つものをつくっていきたいです。

—DX取り組みは。

業界全体で「建設DX」に積み、空からレーザー放射して地形をスキャンする機材を導入することで、広範囲なほか、屋外作業が減り、体の負担軽減にもなります。仮想現実（VR）での完成モデルや情報発信については、職場になるよう、ありがい、社内の雰囲気、働く環境などに目配りしています。

—経営方針は。

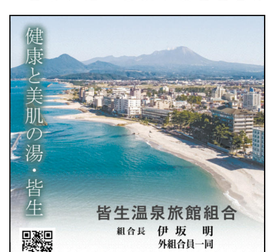
「より良い職場づくり」が今年、創業45年目第4期目に開催するなど、月に一度のイベント開催を目指しています。同広場の青空市場や情報発信、イベント企画などを通じて盛り上げる「風紋サポーター」を募集しています。企業や団体、市民の皆さんと連携して、来年度はサポーター発のイベントが生まれればと思っています。

—展望は。

領域を広げるために毎年、新規事業に取り組むことを目標として掲げる。幅広い世代の従業員20人で、映像やデザイン、イベントの部署が一丸となって取り組んでいます。

—「循環型の社会を創造する」マルコラ（フードフェスタ）を開催しています。

地域の子どもたちがより質の高い教育を受けられるよう、寄付付き商品販売で支援しています。マルイグループのNPO法人を通じ、県内のNPO団体に寄付額は15年度から毎年増えています。

—地域とのつながりを深める中で、本年度からJR鳥取駅前風紋広場の指定管理者になられました。

同広場で定期的にイベントを行い、街に多くのにぎわいをもたらしたいです。子ども服や、おもちゃのおさがりを